

支所廃止へなお努力

奈路地区 市政懇談会



話し合いを続ける

十月九日夜、公民館事業の一環として奈路地区公民館（川村雪子館長）で市政懇談会が開かれました。地元からは千人が参加、市からは浜田助役、関係課長らが出席して、地区の抱える問題や市政全般について約三時間とわたって熱心に話し合いました。

まず、浜田助役が市政の現状について説明。

小笠原市長の就任時は、空港問題、財政再建、同和対策が大きな三つの柱だった。空港については騒音問題など残されているが、大体峠を越した。そして、新たに財政再建、同和対策、教育行政、産業振興の四本の柱を立てた。

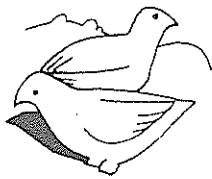
財政については、土地開発公社への未払い金三十数億円が残っており、また経常経費が段々増加するなど緊急事態になり

奈路小の改築や市政全般について熱心に話し合った

つつある。

同和対策については、徐々に効果は現れている。現在、小集落地区改良事業を中心に地域の環境整備をしており、法の期限内に完成するよう努力している。また教育面からの差別解消にもなおいつそう力を入れていく。

教育については、将来市を担ってもらう人材の養成をいうことで、十分とはいえないが教育環境の整備に重点的に予算を配分して



いる。産業の振興は市勢の発展につながるもので努力していく。空港、四国横断自動車道など立地条件を生かし、バランスのとれた産業の発展をと考えている。

話し合いの内容は・・・

○奈路小学校の改築について現状説明を。

●用地造成については、近い内に測量、設計が終わるので同時に買収に取りかかり、年内には工事の入札を行う予定だ。

○県道南国伊野線の内、関西橋から公民館までの約二百メートルの区間が狭くて危険だ。早急に拡幅してほしい。

●拡幅について県の話によると、要請は受けているが、南国市の交通量の多い所の改良が優先するので、今の財政状況では十分要望にこたえられないということだ。六十一年度に最終設計をして、できれば一部の用地を買収したいとの返事をもらっている。

○し尿処理場建設はどうなっているのか。

●市内の候補地では賛成を得られず、改築を進めている香長し尿処理場の規模を大きくして南国市も加入させてほしいと話を進めている。市単独で建設すると、最低十

四、五億円必要なので負担が大きいの。広域でやると安上がりになるので、香長し尿処理組合長である野市町長にお願いして、何とか実現するように努力している。

○支所廃止について、この地区でも説明会を開いたが、その後どういう方向へ進んでいるのか。

●岡豊、領石、十市の三支所廃止問題について、それぞれの地区で説明会を開いたが、廃止反対の請願が採択され、議会提案ができなかった。説得力が足らなかつた点もある。廃止によって一時的なサービスの低下はあるが、別の面でのサービスができると思う。反対はあるがきらめてはいない。今後も話し合いを続けていく。

○比江山へ工場誘致することだが、今ある運動場はどうなる。

●木材団地の誘致のときに運動場を確保する約束で造成した。ミロク機械の誘致は運動場の南で、そこにスバル配車センターがある。移転してもらう必要があるが、時間的にすぐにはいかない。場合によっては、今の運動場に一時移転させていたきたい。代替の運動場用地を比江地区を中心に物色しているが、ここは埋蔵文化財地域なので地権者のご理解を得てその可能性を検討したい。